全分野に共通する課題と分野別キーワード

課題

課題に関連するキーワード(分野別)

	健康・福祉	子ども・教育	文化·市民生活 (含:防災·商工業振興)	緑・環境	都市基盤	行•財政			
地域の担い手不足 地域の課題解決力の低下	地域福祉活動の担い手 民生児童委員等の担い手	青少協・PTA等の担い手 共働き・ひとり親世帯の増(=専業主婦の減) 学校のサービス業化 家庭の教育力低下 サービスの受手 = 担い手	コミュニティ協議会の担い手 消防団・自主防災組織の担い手	公園等施設維持管理の担い手 禁煙等マナー啓発の必要性 生活公害の増加	交通マナー啓発の必要性	「市民自治の原則」の共有の必要性 「補完性の原理」の共有の必要性			
地域でのつながりの必要性	引きこもりの増加 高齢単独世帯の増加 老老介護 「地域福祉」の概念	社会全体で子どもを守り・育てる風土 (安心安全、虐待防止・・・) 地域の中の学校、地域支える学校 子育ての孤立化	社縁(会社の縁)への偏向の是正		高層住宅の増と共同住宅世帯数の増 水循環(下水も含む)への市民の義務			コミュニティ (基本課題 A)	
どのような地域生活・隣人関係を望む か	支えあっている実感 理解し許容し合う風土の醸成	近所の子を「育てる」意識の欠落	コミュニティ協議会の存在意義 地域コミュニティの経営力	地域コミュニティで共有し推進する緑化活動	地域のまちづくりビジョンの共有	将来像・ビジョンの共有		V	
もを見通せない不安感(受信・発信・ 供有による安心感の醸成)	地域リハビリテーション こころのバリアフリー	子育て不安・負担感 情報リテラシー教育の重要性	地震・集中豪雨等自然災害に対する不安 消費者保護の重要性	地球環境の変化に対する不安感 リサイクル・分別の理屈の浸透	公共サインの統一 社会的弱者に配慮したまちづくり(バリアフリー)	広報・公聴機能の強化(含:情報の編集機能コミュニケーションスキルの向上情報提供手段の複層化情報のリアリティ BCP・BCMと地域防災計画の見直し		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
ICTの利活用	医療・福祉情報の伝達・共有	保護者への迅速な情報伝達				業務の標準化 ワンストップサービス		(基本課題 B)	
個人情報の適正な運用・管理	途切れのないサービスのための適切な運用	途切れのないサービスのための適切な運用	途切れのないサービスのための適切な運用			個人情報の適正運用・管理(情報セキュリティ)		7	
少子化・高齢化による人口構成の変化 (武蔵野市 Smart Aging Town 構想) 世帯構成の変化 (単身高齢者の増)	高齢者増加への対応 医療費、社会保障費等の増大 健康づくりと介護予防(生活習慣の改善) 子ども・教育分野との連携・すみ分け 高齢単独世帯の増加(再掲)	少子化対策 子育てへの総合的支援 家庭の教育力低下(再掲) 少人数学級・指導 既存学校のあり方分岐点(地域の拠点 ⇔ #	災害時に各戸へのアウトリーチ 医療&介護トリアージ 需要の変化(供給とのミスマッチ) 災害時に各戸へのアウトリーチ(再掲) 暁廃合)	次世代に引き継ぐべき「緑・環境」のあり様	歩行者重視の交通環境 社会的弱者に配慮したまちづくり(パリアフリー)(需要に変化に合わせた行政サービスの提供再掲)		人口構成・世帯構	
居場所の確保等	施設(公的施設だけではなく)とソフトの両面	施設(公的施設だけではなく)とソフト両面	施設(公的施設だけではなく)とソフト両面コミセンの位置づけ才再認	公園等の公的空間のあり方	市民施設の再配置と運用	市民施設の再配置と運用		<u>成の変化</u> (基本課題 A・B)	
ときがい・文化	健康づくりと介護予防(生活習慣の改善)(再掲) 高齢者・障害者の就労・活動支援	自然体験・読書体験等を通じた感性の醸成	豊かな学びの提供(生涯学習の振興) 文化施設を通じた市民文化の醸成 文化事業と生涯学習機能の整理統合				<u> </u>		
持続可能なまちの形成	福祉施設の再編・整備 財源確保(寄付金?)	子育て支援施設再編学校施設の建替え		省エネルギー化 温室効果ガス排出量削減 生物多様性 資源消費・廃棄物発生抑制 クリーンセンター改築	都市インフラ更新 災害に強いまちづくり(耐震、浸水対策、耐火等) 都営水道への一元化 環境負荷を低減するまちづくり 都市機能の複層化 ユニバーサルデザイン	公共施設の再編 FMの推進 財政見通しの明確化・財源確保		まちのリニューア ル	
魅力あるまちの形成	ユニバーサルデザイン	安心して子育てできるまち 少子化時代の学校の機能 ⇔ 地域の核	都市観光 商・エ・農振興 安全・安心のまち(防犯) 地場産業の育成と外からの投資誘導	緑のまちづくり (次の戦略) 連携もしくは相反する要素の整合 (緑と環境、電力とCO2等)	地域特性を踏まえたまちづくり 景観(高さ制限) 良好な交通環境(歩いて楽しい街) 地場産業の育成と外からの投資誘導			(基本課題C・D)	
連携と包括によるきめ細かく、確実な サービス提供	地域リハビリテーション(再掲)	子育ての孤立化(再掲) 社会全体で子どもを守り・育てる風土(再掲) 待機児解消	地域の課題別組織の相互連携・包括市民と市民・団体・企業等との協働	資源消費·廃棄物発生抑制(再掲)					
セーフティネットの強化	ウイルス等感染症対策 社会的弱者への支援 災害時要援護者対策	虐待防止						<u>多様な主体との連携・包括</u> スットワーク化に	
多様な主体によるサービス供給	高齢者・障害者の就労・活動支援(再掲)	放課後施策(あそべえ・学童) 幼児教育 大学・企業等地域資源を活用した教育の充実	NPO等による活動の活性化	NPO等による活動の活性化	NPO等による活動の活性化	効率的効果的行政サービスの提供 民営化 民間や他市との連携		よる支援 (基本課題B)	
広域連携による効率化・リスク分散			都市・国際交流事業	自区内処理と広域連携	都市機能整備等における広域連携	近隣自治体との広域連携(効率化・コスト削減) 友好都市との相互的防災安全保障体制		V	
その他(個別)	社会保障費の上昇新たな福祉ニーズ	きめ細かな教育 特別支援教育 教育相談 自然体験 子ども子育て新システムへの対応	市民活動支援 男女共同参画社会		輻輳化 ⇔ 効率化 公のまちづくり ⇔ 私有財産	人材育成基本方針 仕事の生産性向上 法務能力の向上 財政自主権の確立・健全財政運営 市有財産の適切な保有と有効活用 長期的視点・全市的視点 働き方の多様性・ワークライフバランス			